

2021年度事業計画

＜公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）＞

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

＜2021年度事業計画について＞

1-1 大学生への奨学金支給事業 ＜公益事業1＞

(1) 大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

2021年度の大学進学予定者の募集を2020年4月に開始し、その後、奨学生選考委員会（オンライン開催）での書類選考を経て、8月下旬から9月中旬にかけて選考委員による面接選考（オンライン開催）を実施した結果、101名（両親がいない1名含む）を予約採用の内定者とした。前年度に内定している一浪生10名を含めた111名の内定者のうち、2021年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始する。

＜2021年度給付者予定総数＞ ※2021年度採用（1年生）は想定人数。

	一般枠	芸術枠
2018年度採用（4年生）	71名	6名
2019年度採用（3年生）	90名	2名
2020年度採用（2年生）	88名	
2021年度採用（1年生）	100名	
大学1～4年生合計	357名	

※2020年度採用より、一般枠と芸術枠を統合。

★大学生 奨学金（入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む）

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
3億3,502万円	3億5,738万円	3億3,988万円

※なお、2020年度はコロナ禍にある大学生の学費支援のために特別奨学金を一人当たり10万円支給した（合計3,500万円）。

(2) 大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2020年度からはより活用しやすい制度に改訂し、制度の利用促進を図った。コロナ禍によって海外渡航が制限されている状況に鑑み、本年度よりオンライン留学への支援を拡充する。

★大学生 海外留学・活動支援金

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,500万円	15万円	1,000万円

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1) 大学院奨学生への奨学金給付

2021年度の大学院進学予定者に対する募集を2020年1月に行い、選考委員による書類選考および面接選考（5月下旬にオンラインで実施）の結果、28名を内定とした。その後、1名は就職を選択して内定を辞退。また1名が大学院再受験のため留年したため、2021年4月に当財団指定の大学院に進学する者は26名となる。新規進学者に対して、大学院修士課程2年間、月額8万円の奨学金給付を開始する。

2021度の給付者総数は、大学院2年生13名と合わせて39名（2020年度より17名増）。また、2022年4月に大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記のとおり実施する。

- ①給付対象： ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること
 ・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
 ・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②給付金額： 月額 80,000円、給付期間は2年以内とする
- ③採用者数： 30名程度
- ④選考方法： 大学3年生対象に2021年1月に募集し25名が応募。
 選考委員による書類選考と面接選考を経て、5月に理事長が内定決定。
 翌年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

★大学院生 奨学金

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
2,112万円	2,092万円	3,744万円

※2020年度はコロナ禍にある大学院生の学費支援のために特別奨学金を一人当たり10万円支給した（合計220万円）。

(2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2021年度も海外留学・活動を希望する大学院奨学生に対して支援金を給付する。本年度より大学奨学生と同様に、オンライン留学への支援を拡充する。

★大学院生 海外留学・活動支援金

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
150万円	50万円	200万円

<参考>今後3年間の奨学生数の推移予測

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大学奨学生①	12年目 346名	13年目 357名	14年目 380名	15年目 388名
(一般枠)	332名	357名	380名	388名
(芸術枠)				
(震災支援枠)	14名	—	—	
大学院奨学生②	8年目 22名	9年目 39名	10年目 56名	11年目 60名
合計①+②	368名	396名	436名	448名

2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

(1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

2020年度はコロナ禍の影響により「奨学生の集い」は中止としたが、2021年度は11月に東京で開催する。2021年度は電通ホールからベルサール汐留に会場を変更して実施する。

- ・参加者：現役奨学生全員（約400名）、OBOGの参加希望者、大学関係来賓、
電通育英会役員・奨学生選考委員
- ・講演：未定
- ・開催日：2021年11月13日（土）
- ・会場：ベルサール汐留

★「奨学生の集い」関連費 *奨学生の交通費含む

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,399万円	なし	1,488万円

(2) 大学1・2年生セミナーの実施

大学1年生と2年生に対して、9月に1泊2日の合宿形態で実施する。コミュニケーションスキルや課題解決力の育成などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世代人材を育成する一助となるよう支援する。なお、カリキュラムについては、次世代リーダーシップ人材育成の観点から検討を行う。

- ・1年生対象：コミュニケーション研修、2年生対象：課題解決力養成研修
- ・開催日：大学1・2年生ともに、2021年9月18日（土）～19日（日）
- ・会場：湘南国際村センター（神奈川県葉山町）

★「大学生1・2年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,319万円	645万円	1,331万円

(3) 大学院生・大学3年生セミナーの実施

大学院生および大学3年生に対して、セミナーを8月に1泊2日の合宿形態で実施する。2017年度から大学院生・大学3年生同時期に実施し、相互に交流する機会も設けている。

- ・大学院生：イノベーションアイデア創造のためのグループ討議等
- ・大学3年生：自己分析とキャリアデザイン研修
- ・開催日：大学院生・大学3年生ともに、2021年8月21日（土）～22日（日）
- ・会場：クロス・ウェーブ船橋（千葉県船橋市）

★「大学院生・大学3年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
910万円	395万円	1,108万円

(4) 修了生交流会

2022年3月に卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象として実施。奨学生の卒業・修了をお祝いするとともに、その後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員ご出席のもと、「修了生交流会」を2022年3月に東京で開催する。

- ・開催日：2022年3月13日（日）調整中
- ・会場：帝国ホテル

★「修了生交流会」関連費 *修了生の交通費含む

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,150万円	540万円	555万円

3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

(1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行。2018年4月発行号よりリニューアルし、2020年度は「私たちのブレイクスルー」をテーマに展開した。奨学生（OBOG含む）、大学関係（学長・広報）、対象高校に加え、全国の図書館、新聞社、教育研究機関等に向けて各号約4,500部を配布。

2021年度は「成長をデザインする」を年間テーマとし、コロナ禍や第4次産業革命などの劇的変化の時代の中で、自分自身を成長させることをテーマとし、不安や悩みを乗り越え、出会いや社会変化への学びを通じて、学生時代の過ごし方を考えていく。各号の特集は以下のとおり。

	発行月	特集テーマ	取材大学
Vol. 94	2021年4月	逆境を力に変える	-
Vol. 95	2021年7月	新しい出会いを求めて（仮）	未定
Vol. 96	2021年10月	変わる社会を学ぶ（仮）	未定
Vol. 97	2022年1月	今、学生時代をどう過ごす？（仮）	未定

なお、コロナ禍により2020年度より「大学を訪ねて」は休止中。

★会報誌関連費

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
3,492万円	3,412万円	3,500万円

(2) 調査研究

2021年度は、以下2件の調査研究を実施する予定。

- ① 桐蔭学園（理事長/トランジションセンター所長/桐蔭横浜大学 特任教授 溝上慎一氏）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究
「高校生・大学生・成人を対象とした、学校から仕事・社会へのトランジション（接続）調査研究」
- ② 立教大学（経営学部 中原淳研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究
「若年労働者の初期キャリア形成に関する研究」

★調査関連費

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,800万円	1,584万円	1,584万円

(3) 「リーダー育英塾」

「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を教育界で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年から「リーダー育英塾」を開始し、2018年は第1期生34名、2019年は第2期生32名を迎えてワークショップを実施した。2020年度はコロナ禍に

よりワークショップは中止となったが、8月に特別オンラインセミナー「コロナ禍を乗り越えるスクールリーダーシップ」を実施し、高校・大学の教職員など約300名が参加した。コロナ禍で学校改革が進み、リーダー育英塾OBOGの活躍が報告されている。2021年度も第3期リーダー育英塾の開催を計画しており概要は以下のとおり。

<第3期リーダー育英塾>

- ・日程／2021年8月14日（土）～16日（月）<2泊3日の合宿>
- ・会場／クロス・ウェーブ船橋（船橋市）
- ・募集対象者と人数／高校または短期大学・大学の関係者30名程度
- ・募集方法／3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定（事前課題有）。
応募締め切りは4月末予定。選考は下記講師およびファシリテーター。
- ・参加費／ 無料（ワークショップ・宿泊・食事・懇親会に関わる費用）
※現地までの交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人に関わるものは自己負担
- ・監修／溝上 慎一（桐蔭学園 理事長／桐蔭横浜大学 特任教授）、中原 淳（立教大学 経営学部 教授）

また、リーダー育英塾の成果を共有するカンファレンスを以下のとおり開催する予定。

※2020年度のカンファレンスはコロナ禍のため中止となった。

<リーダー育英塾カンファレンス2021>

- ・日程／2021年10月中旬
- ・会場／未定（オンラインでの開催も検討）
- ・内容／基調講演および第1期および第2期リーダー育英塾OBOGによる成果報告と
ディスカッション他
- ・募集対象者／教育関係者および企業の人材育成関係者等、200～300名程度
- ・募集方法／電通育英会ホームページにて募集予定

<OBOG活動事例集および情報交換会>

第1期、第2期リーダー育英塾の参加者が教育現場で実践している活動を取材し、ホームページ等で公開する。また、2020年度リーダー育英塾特別オンラインセミナーの終了後に行ったリーダー育英塾のOBOG並びに講師・ファシリテーターとのオンライン懇親会が好評につき、定期的なOBOGの情報交換会の開催を計画する。

★リーダー育英塾関連費

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,500万円	27万円	1,110万円

4. 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する資金助成<公益事業2>

2021年度は11団体を採択した。1団体あたりの上限100万円。

★人材育成活動助成事業関連費

2020年度予算	2020年度実績見込	2021年度予算
1,367万円	996万円	1,580万円

2021年度助成団体（11団体）

NPO 法人 アサヒキャンプ	「アサヒキャンプカウンセラーズ」 人権意識にあふれた心身ともに健康で「生きる力」をもった青少年の育成を図る
NPO 法人 glolab	「大人になるってなんなんだ？仕事編」（外国人ルーツの高校生の育成支援）
NPO 法人 研究実験施設・環境安全教育研究会*継続	「2021年度高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」
NPO 法人 シェア・マインド	「美味しさで分かち合おう！学生発案のフードチャリティー」（食品ロス削減施策）
一般社団法人 次世代ロボットエンジニア支援機構	「ロボットコンテストを活用した次世代リーダー育成基盤の定着化と強化」
NPO 法人 大学宇宙工学コンソーシアム	「大学生が中高生や一般の方に教える人工衛星ハンズオントレーニング」
NPO 法人 地球対話ラボ	「地球対話コーディネーター育成プログラム-インターネットテレビ電話を使用したりリモート国際協働プロジェクトを通じた異文化理解と次世代育成-」
日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	「日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議」
認定 NPO 法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン	「ハビタット・ユース・リーダシップ・トレーニング」
学校法人立命館	「大学・学校の枠を超えて防災・災害復興支援について学び合い、災害時に機動力を発揮できるリーダー・フォロワーを養成するプログラムの開催」
Learning Crisis 研究会	「まなキキ・フォスター・プラン：障害児と大学生が紡ぐ学びのナビゲータ」

2021 年度主要行事 年間予定表

	日 程	場 所
2021 年		
第 3 5 回理事会	6 月 8 日 (火) 11 : 00～	帝国ホテル 松 (or 楓) の間
第 1 1 回定時評議員会	6 月 25 日 (金) 11 : 00～	帝国ホテル 松 (or 楓) の間
第 3 6 回理事会 (臨時)	6 月 25 日 (金) 15 : 00～	帝国ホテル 松 (or 楓) の間
大学奨学生選考委員会	7 月上旬	電通銀座ビル 8F 会議室
第 3 期「リーダー育英塾」	8 月 14 日 (土) ～16 日 (月)	クロス・ウェーブ船橋
大学院生・大学 3 年生セミナー	8 月 21 日 (土) ～22 日 (日)	クロス・ウェーブ船橋
大学 1・2 年生セミナー	9 月 18 日 (土) ～19 日 (日)	湘南国際村センター
リーダー育英塾カンファレンス 2021	10 月中旬	電通ホール
第 2 4 回資産運用委員会	10 月 22 日 (金) 13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
第 3 7 回理事会	11 月 18 日 (木) 11 : 00～	電通銀座ビル 8F 会議室
奨学生の集い 2020	11 月 13 日 (土)	ベルサール汐留
2022 年		
助成団体選考委員会	1 月下旬～2 月上旬	電通銀座ビル 4F 会議室
第 2 5 回資産運用委員会	2 月 18 日 (金) 13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
修了生交流会	3 月 13 日 (日) 12:00～調整中	帝国ホテル 孔雀南の間
第 3 8 回理事会	3 月下旬	帝国ホテル

以上